

# 琉球アスティーダスポーツクラブ(7364)

## 琉球アスティーダに福岡の九州アスティーダも加わり、 スポーツを絡めた地方再生事業モデルの拡大加速へ

TOKYO PRO Market | 娯楽施設 | 業績フォロー

BLOOMBERG 7364:JP | REUTERS 7364.T

- 2/28発表の2022/12通期は、売上高が前期比5.3%増、営業・経常・当期利益が飲食事業の店舗撤退・減損損失の影響で赤字幅拡大。
- 21年4月設立の福岡県の女子卓球チーム「九州アスティーダ」がTリーグへ参戦。デジタルトークン活用と大規模フェス開催も貢献。
- スポーツトークン発行などテクノロジー活用、スポンサー価値最大化、スポーツを絡めた地方創生事業モデルの加速が期待される。

### What is the news?

2/28発表の2022/12通期は、売上高が前期比5.3%増の5.00億円、営業利益が前期の▲1.91億円から▲2.13億円へ、経常利益が▲1.35億円から▲2.12億円へ、当期利益が▲1.34億円から▲2.65億円へ赤字幅拡大。スポーツ関連事業におけるデジタルトークン活用や大規模フェスの開催、および新規事業のセグメント損益が改善も、飲食事業の店舗撤退や固定資産に係る減損損失が利益面で響いた。

セグメント別通期業績は以下の通り。①スポンサー収入が主力のスポーツ関連事業は、売上高が前期比7.5%減の2.72億円、セグメント利益が前期の▲11百万円から▲801千円へ赤字幅縮小。21年4月設立の福岡県を本拠地とする女子卓球チーム「九州アスティーダ」がTリーグへ新規参戦。スポンサー数増加に加え、デジタルアイテム「クラブトークン」発行やアスティーダフェス開催に伴うチケット販売収入が利益率向上に貢献。②直営とフランチャイズで展開する飲食事業は、売上高が同23.7%増の2.30億円、セグメント利益が前期の▲50百万円から▲59百万円へ赤字幅拡大。新型コロナ禍の規制緩和に伴う経済正常化が増収に寄与した一方、店舗撤退に係る損失計上が利益面で響いた。③マーケティング及びアスリートマネジメント等を含むその他事業は、売上高が同5.5%減の895千円、セグメント利益が前期の▲2,681千円から22千円へ黒字転換。

### How do we view this?

2023/12通期会社計画は、売上高が前期比12.4%増の5.62億円、営業利益が▲48百万円（前期▲2.13億円）、経常利益が▲48百万円（同▲2.12億円）、当期利益が▲51百万円（同▲2.65億円）の増収・赤字幅縮小。

同社は、2022/12期末の債務超過（▲1.42億円）に伴う継続企業の前提に関する疑義解消のため、飲食事業において不採算店舗撤退に続いて一層の合理化を図り、主力スポーツ関連事業で新規スポンサー獲得など利益改善に向けて経営資源を集中するとともに売上高販管費率（22/12期：82.8%）の適正水準に向けた費用コントロールを実施するとしている。

スポーツを絡めた地方創生事業モデルを沖縄から九州へと拡大するなか、同社が検討中の第三者割当増資による資本増強を通じ、トークン発行などテクノロジーの活用、大規模フェス開催やアジアへの情報発信を通じたスポンサー価値最大化への経営資源の効率活用が求められる。

### 業績推移

事業年度	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12F
売上高(百万円)	261	398	474	500	562
経常利益(百万円)	4	8	▲135	▲212	▲48
当期利益(百万円)	6	5	▲134	▲265	▲51
EPS(円)	5.06	4.17	▲94.41	▲177.10	▲31.68
PER(倍)	138.34	167.87	-	-	-
BPS(円)	37.56	56.94	28.98	▲88.20	-
PBR(倍)	18.64	12.29	24.15	-	-
配当(円)	0.00	0.00	0.00	0.00	-
配当利回り(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	-

(※)2019/4/25付で普通株式1株につき3株の割合で、および2019/11/22付で普通株式1株につき30株の割合で株式分割を実施したが、2019/12期の期首に当該株式分割が行われたと仮定してEPS、BPSを算定している。

(出所：会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

配当予想(円) - (会社予想)  
 株価(円) 700 2023/4/19(基準値)

### 会社概要

2018年2月に早川周作氏(現・代表取締役会長)が、「沖縄から世界へ」をスローガンに、スポーツの力で社会貢献することを目指して設立。世界で活躍する選手たちに刺激を受けた沖縄の子どもたちがスポーツに興味を持ち、優秀な選手に育つことで、沖縄にとつての「明日の太陽(ていだ)」となることを目標に「アスティーダ」との社名がつけられた。2021年3月30日にTOKYO PRO Marketに上場した。

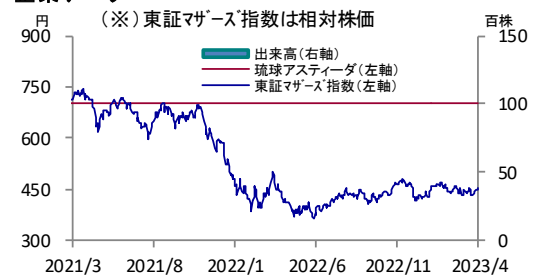
同社のビジネスモデルは、スポンサー収入のみに頼る従来のスポーツクラブ経営と異なり、「プロスポーツビジネスの新しい循環型モデルの創出」のために「卓球を中心としたプロスポーツ×沖縄×飲食」の相乗効果を図ることに特徴があり、スポーツ関連事業と飲食事業の2事業セグメントで構成される。

スポーツ関連事業は、①同事業売上の約80%を占めるスポンサー収入、②プロ卓球リーグのTリーグ分配金、③卓球教室収入、④グッズ収入、⑤ファンクラブ収入、⑥Tリーグのホームゲームに係るチケット収入、⑦YouTubeチャンネルからの広告などその他を含む。

飲食事業は、「バルコラボ」の冠名を中心とした洋風居酒屋(バル)型の店舗を沖縄で直営またはフランチャイズで展開。飲食店舗には卓球台が置かれ、卓球を楽しみながら琉球アスティーダのファン同士でコミュニケーションを図ることができるなど、沖縄ならではの料理を通じて「スポーツ×沖縄×飲食」の相乗効果を高める役割も果たしている。

その他事業は、①SNSのインフルエンサーを活用したマーケティング事業を行うアスティーダマーケティング株式会社、②アスリートのマネジメントを行うAMG株式会社を展開する。

### 企業データ



(出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

主要株主(2023/3/31) (%)

1.早川 周作	53.33
2.佐野 健一	5.28
3.MTGV投資事業有限責任組合 無限責任組合員 株式会社MTG Ventures	3.70

(出所：会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

### リサーチ部

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser に就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っています。